

琉球大学学術リポジトリ

[抄録] 農業上重要なヨコバイ科の2新種

メタデータ	言語: 出版者: 沖縄農業研究会 公開日: 2009-01-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東, 清二 (抄録) , Azuma, Seizi メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/0002015187

農業上重要なヨコバイ科の2新種

(石原 保・愛媛大：応動昆，9（1）：19～22，1965，英文）

琉球でサツマイモのでんぐす病の媒介昆虫として記録されたクロマダラヨコバイ（新海等1964年）および本州で萎縮病の著しい桑園に多発したヒシモンヨコバイ近似種の2種はいずれも新種と認むべきものであるため記載した。

1. *Nesophrosyne ryukyuensis* Ishihara

クロマダラヨコバイ

翅端までの体長約3mm，翅を除いて2.8mmである。頭部，前胸背板及び前翅は不規則な黒色斑を有する淡褐色，頭頂には頭縁近くの2黒点と複眼の各側に1黒点がある。複眼は暗褐色，単眼は赤色を呈し，額面は基部を除き殆ど黒色で両側に約7個の淡黄色帯を有する。

前胸背板は前部を除きやや暗色で前縁の近くに1対の黒色点を有し，両側にある蠕虫状線は特に黒色に近い。小楯板前部は黒色で両側，中央の前側縁部近く及び後方は時折黒色を呈する。

前翅にはよく発達した黒色の蠕虫状線があり，翅端は顕著な灰褐色を呈する。腹背板は黒色で後縁は黄褐色を

帯び特に後2節はそれが広い。

頭長は複眼間の広さに等しく，明らかに複眼の広さより長い。前胸背板は複眼を含んだ頭部の広さに等しく，頭長の1.5倍弱である。

前翅は腹部末端より充分長く，雄扁平板は各々5本の針状毛が一行に生じ，ゼニタリヤは同属の他の種に似るが後部突起がまっすぐにするどく尖り，挿入器は比較的細い。腿節後方末端に生ずる小棘は1—2—2である。

完模式標本：1雄，宮古島 1964，VI 9（新海採集）

副模式標本：7雄9雌，同上

分布：沖縄本島，宮古島

2. *Hishimonoides sellatiformis* Ishihara

ヒシモンモドキ（新称）

桑園に発生し多分桑の萎縮病の媒介昆虫かと思われる。

分布：本州（山形県及び長野県）

（抄録 東 清二）